

## 英 語 科

主任：曾川 恵子

### (1) 今年度の目標

- ① 基礎・基本事項の定着と高い英語運用力を養う。
- ② 積極的に英語で自分の考えを表現したり、英文で書いたりする姿勢を養うとともに、他の人の意見を聞き取り、それに対して自分の意見を言ったり質問したりする能力を養う。
- ③ 自主的学習習慣を養う。

### (2) 主な取り組みの計画

#### 目標①についての主な取り組み

- ア 1年生英語表現 I で、出席番号に基づき20人ずつに分けた少人数クラス授業を実施する。単語プリントで長文読解のための語彙を増強する。
- イ 2年生のライティングで、2クラスを3つ（習熟度の高いクラス1つと標準的なクラス2つ）に分けた習熟度別少人数クラスで授業を実施する。クラスの実情に応じて授業内容も少し変化させる。
- ウ 3年生は教科書だけでなく多くの演習問題を授業で扱い、大学入試等の実践に即した力を身につけられるようにする。学年当初より、リスニング教材を授業に取り入れ、センター試験に対応する。

#### 目標②についての主な取り組み

- ア 1年生ではALTによるインタビューテスト（1学期）、Show & Tell（2学期）、ミニディベート（3学期）を実施し、スピーキングの力を養う。また、週末課題で英語の運用能力を養成し、夏休みには英文エッセイを書かせる。
- イ 2年生では週末課題やALTの授業でのディベート、ライティングの時間でのエッセイライティングを実施する。

#### 目標③についての主な取り組み

- ア 1・2年生では斯文土曜塾や週末課題で計画的な学習の支援をする。また家庭学習用副教材を試験に出題し、家庭学習の充実を図る。
- イ 3年生で夏季休業中の課外を講座制にし、各自の目標に合った講座に参加できるようにする。

### (3) 授業アンケートの結果と分析

授業には概ね真面目に取り組んでいるが、予習復習ができていない生徒が多い。特に復習ができていないために、授業内容が定着しない生徒がいる。また、2年生の中に自学教材の英文問題精講が難しすぎるという意見が多いので検討を要する。

### (4) 今年度の成果と課題

1年生は新学習指導要領になり、新科目であるコミュニケーション英語 I と英語表現 I で英語主体の授業を実施した。進研模試にも変化が見られ、長文が長くなり、スキミングやスキッピングの力を見る問題が大半を占めている。語彙力の増強と長文を普段から読み慣れておくことが重要であると思われる。また、小テスト等を実施して授業内容の定着をはかる必要がある。